

ふるさと教育 取組事例

学校名	邑南町村立瑞穂小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	総合的な学習 の時間	久喜銀山を有名にしよう	久喜大林銀山 久喜銀山保全委員会 田所、出羽公民館 生涯学習課 文化財担当
ねらい	・地域に残る歴史文化財の大切さや存続の工夫について学び自分たちにできることを考え、地域を大切に貢献していくことができる。		
<p>1 取組の概要</p> <p>○久喜銀山についてインターネットで調べる。 ○久喜銀山の探検、見学をする。</p>  <p>○久喜銀山について学習したことを多くの人に知ってもらう方法を考え実行する。 ○学習発表会で保護者に発表する。</p>  <p>○『銀山会議』を開き、地域の方と相談しながら、自分たちのできることを考える。</p>  <p>○久喜銀山を有名にするために自分たちにできることを実行する。</p>  <p>○成果物をお披露目し、自己貢献の実感を得る。(3月10日に実施予定)</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

- 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。
- (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)
- ふるさとへの愛着や誇りを持つために、それが自分にとって身近な存在であり、その素晴らしさを実感することができるよう、現地の探検や見学、保全委員会の方をはじめとした地域の方々のガイドを取り入れた。
 - 地域貢献感を抱かせ高めるには、銀山を有名にするために自分たちができることを考えさせ実行していくことが大切であると考えた。しかも自分たちの一方的な思いではなく、地域の方と同じ方向性を持っていることが必要である。地域の方と同じ方向性を持ち、地域の方の思いや考え方を踏まえていることが大事である。そこで、地域の方といっしょに考え相談する場として、銀山会議を設定した。そこで実行していくことを決め実践していった。活動途中でも地域の方に来ていただき、児童の様子を見てもらいながら励ましの声をかけてもらった。
- (学力育成の視点から)
- 知識・技能
 - ・久喜銀山の歴史的価値を知ったりそれを守り広めていこうとしている人々の工夫や努力について理解できるよう、現地での地域の人々のガイドを取り入れたり銀山会議をもったりなど関係している方と関わる活動を設けた。
 - 思考力・判断力・表現力
 - ・久喜銀山について考え、自分の思いを表現する力を育むために、学習発表会で銀山の歴史や人々のくらしなどを劇にして発表したり、久喜銀山がこれからもっと有名になるために自分たちができることを考え、銀山会議で提案し地域の方と共に考えあったりなどの活動を設定した。
 - 学びに向かう力・人間性
 - ・友達や地域の方とよりよい関係を作れるよう見学や銀山会議、活動をできるだけいっしょに活動したり思いを伝え合う活動を実施した。
 - ・児童の思いに沿った展開をし、学習への意欲を高めるために児童の感想やふりかえりに書かれた表現をもとに、学習展開をデザインした。
- 3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)
- (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)
- 銀山の貴重さと同時に銀山に関わる人々への畏敬の気持ちを育むことができた。
 - 児童の地域貢献感、意欲が高まっている様子がうかがえた。最後には児童が取り組んだことをお披露目する会を予定している。自分たちが取り組んだことを披露し励ましの声をかけていただくことで貢献感と同時に達成感や満足感を持つことができると考えている。
- (学力育成の視点から)
- 的確なサイトから情報収集ができたりプレゼンソフトを活用して自分の考えや思いを分かりやすく表現したりできるようになった。
 - 知識・技能
 - ・現地での地域の人々のガイドを取り入れたことで、久喜銀山の歴史的価値を知ったりそれを守り広めていこうとしている人々の工夫や努力について理解することができた。
 - 思考力・判断力・表現力
 - ・学習発表会で銀山の歴史や人々のくらしなどを劇にして発表したり、久喜銀山がこれからもっと有名になるために自分たちができることを考え、銀山会議で提案し地域の方と共に考えあったりすることで、久喜銀山について思考する力や自分の思いを表現する力が高まった。
 - 学びに向かう力・人間性
 - ・久喜銀山について見学や銀山会議や活動を共にすることで、友達と協力したり地域の方とふれあったりして、よりよい人間関係を作ることができた。
 - ・児童の感想やふりかえりに書かれた表現をもとに、学習展開をデザインすることで、児童の思いに沿った展開ができ、学習への意欲が高まった。
- 4 課題や今後の展望
- 児童が学習を展開していく上で、必要感と必然性に裏付けられ、ねらいが達成でき意欲的な学習が展開することができる「材」の発掘と吟味をしていく。
 - 育てたい資質、能力を分析し明確にする。
 - 児童の思いに沿った展開をデザインしていく。
 - カリキュラムマネジメントを図り、単元のスリム化、効率化、思考の概念化、協働化を目指す。
 - 児童の思考を可視化し、学習を協同化させたり、表現する力を伸ばしたりする。

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)